

# 山本りか 県議会通信

2021・3・31 第39号 発行：三重県議会・日本共産党

あなたと

# 共に



## シトラスリボンを胸につけて



新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見の防止を訴えるシトラスリボン。

## レインボーマスクをつけて



レインボーフラッグは、LGBTの尊厳と社会運動を象徴する旗。色とりどり、多様性の象徴。

### 3・23 予算他 反対討論 要旨 その①

## コロナ封じ込めは本気の検査で 医療機関の頑張りに応えよ

山本りか県議は 86議案のうち 75議案に賛成 11議案に反対

PCR検査費用は今年度実績の約9億円から約40億円と大幅に充実しますが、検査対象は基本陽性者が出た場合に濃厚接触者・接触者を中心とする方針のままで。秋以降、医療・介護・保育現場でのクラスター発生が相次ぎ、宣言解除後のリバウンドと変異株の感染懸念もあります。

国も福祉施設等での定期的な幅広い検査の実施を求めようになりました。無症状の感染者を保護する積極的検査体制へ転換をすべきです。40億円を使い、本気の検査で感染を封じ込めることが大切です。

### 【PCR検査体制】

一般会計予算は総額7881億9721万円。新型コロナウイルス関連費548億円や、とこわか国体・とこわか大会に向けた開催経費や競技力向上対策費86億7400万円がかさんだことから県政史上で過去最高となりました。新型コロナウイルス感染防止と経済再生を重点施策とし、東日本大震災から10年を迎え防災対策にも注力した方針には基本的に賛同いたします。

### 【国民健康保険特別会計】

県が財政運営に乗り出して4年目となり20の市町で保険料の値上げが続いています。来年度は、保険料水準の統一に向けて市町からの負担金の計算方式で医療費水準の格差係数を小さくすることは、地域医療実情、地域特性を無視する方向へ進み更なる値上げにつながります。

### 未就学の子どもの均等割 保険料が2022年から5割減免になる予定。

保険料負担が厳しいことは周知の事実であるにもかかわらず、国の言いなりで県民の痛みに寄り添う姿勢が見られません。

## 多様な生き方を認め合う社会の実現へ

山本りか県議は「知事がパートナーシップ(同性力カップルを婚姻に相当する関係と認める)制度を条例化する」と発言したことを応援してききましたが、全会一致での成立を目指した結果、制度として要綱で定めるもの、条例には記述しない形となり残念です。「ジェンダー平等」への大きな一歩です」と話します。

性的指向や性自認を第三者に暴露する「アウティング」禁止などを盛り込んだ「性的多様性を認め合い誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例」を全会一致で可決決定しました。

アウティング禁止を明記したのは都道府県で初、すべての人の人権が尊重され、多様な生き方を認め合う社会の実現に寄与することを目的としています。

性的指向や性自認の表明に関して「本人の意に反して正当な理由なく暴露してはならない」「性的指向や性自認を理由とする不当な差別的取り扱いをしてはならない」と規定。県民や事業者が県の施策に協力することを要請。県が職員への必要な研修を行うことや、市町や学校、事業者にも研修実施に努めることを求めています。県が相談体制を整備し、必要な情報提供を行うことなども規定しています。

## 障がい者の方の家族運転の自動車税減免拡大について

お問い合わせがあったこと

障がい者手帳を持たれている方の社会参加のためにご家族が移動を手助けされている場合の減免で、障がい者本人さんへの支援です。そのため、その方の所有であることが要件となります。自動車免許証を持っていないくても障がい者本人の所有登録はできます。

内容・頻度が緩和され範囲が拡大されました。

\*ご相談・ご意見・ご要望はこちらへ\*

三重県議会内

日本共産党控室

☎ 059-224-3302

日本共産党 北勢地区委員会

四日市市新正4-21-11

☎ 059-351-8184

お気軽に相談を

